

公民館事業の報告

公民館名	事業名		頁
本館	成人教育事業	市民講座「野川の生き物と湧水・井戸・雨水の恵みについて考える」	1
貫井南分館	成人教育事業	成人学校「今日からはじめる いきいき腸活講座」	2
	成人教育事業	成人学校「楽しくトレッキング～都民の森・紅葉編～」	3
東分館	成人教育事業	成人学校 子ども子育て支援講座「0歳からの音楽会～聞いて・動いて・楽しもう！～」	4
緑分館	成人教育事業	成人学校「文豪たちの関東大震災体験記」	5
貫井北分館	成人教育事業	成人学校 子ども・子育て支援「子どもの心を守るためのストレスマネジメント」	6

公民館事業報告書

			令和5年度			
事業名	市民講座「野川の生き物と湧水・井戸・雨水の恵みについて考える」			担当者	金子 康幸	
				職層	主事	
参加者数	26	大事業		募集方法	市報、月刊こうみんかん、市HP、チラシ、ポスター、市ツイッター	
延べ人数	26	成人教育事業				
出席率	86%	予算措置		受付方法	往復はがき、Eメール、市申込フォーム	
全回出席	26	講師謝礼 @12,000×2h=24,000				
男女別	男	18人		定員	30人(多数抽選)	
	女	8人		対象	市内在住・在勤、在学	
担当企画実行委員			菅沼 七三夫、大木 健至			
年代別	9歳以下	-	保育	町別	東町	3人
	10～19歳	-	なし		梶野町	-
	20～29歳	-	保育人数		関野町	-
	30～39歳	1人	なし		緑町	8人
	40～49歳	1人	準備会		中町	2人
	50～59歳	2人	なし		前原町	4人
	60～69歳	6人	アンケート回収数		本町	3人
	70～79歳	13人	26/26		桜町	3人
	80～89歳	3人			貫井北町	1人
	90歳以上	-			貫井南町	2人
	不明	-			市外	-

回	月日	曜	時間	テーマ・学習内容等	学習方法	講師	場所	参加人数
1	9/15	金	14:00 ～ 16:00	野川の生き物とその生態系を育ててきた湧水・井戸・雨水の保全活動について、学ぶ。	座学	神谷 博さん(法政大学エコ地域デザイン研究センター客員研究員)	公民館本館 学習室	26人
事業のねらい・位置づけ等		野川の生き物とその生態系を育ててきた湧水・井戸・雨水の保全活動について、学習する。						
特記事項								

公民館事業報告書

令和5年度

事業名	成人学校 「今日からはじめる いきいき腸活講座」		担当者	松本浩明	
			職層	主任	
参加者数	19人	大項目		募集方法	市報、月刊こうみんかん、チラシ、ポスター、ホームページ、ツイッター
延べ人数	19人	成人教育事業			
出席率	95%	予算措置		受付方法	電話また直接窓口
全回出席	95%	講師謝礼 @8,000×2h=16,000			
男女別	男	2人		定員	20人
	女	17人		対象	市内在住・在勤・在学者
担当企画実行委員		金ヶ江博紀、高橋陽子			
年代別	9歳以下		保育	東町	1人
	10～19歳		なし	梶野町	
	20～29歳		保育予算	関野町	
	30～39歳		なし	緑町	2人
	40～49歳		準備会	中町	
	50～59歳	2人	なし	前原町	6人
	60～69歳	9人	アンケート回収数	本町	2人
	70～79歳	7人	19人	桜町	
	80～89歳	1人		貫井北町	3人
	90歳以上			貫井南町	5人
	不明			記載なし	

回	月日	曜	時間	テーマ・学習内容等	学習方法	講師	場所	参加数
1	10/22	日	10:00 ～ 12:00	<ul style="list-style-type: none"> ・美腸？汚腸チェック ・腸が注目される理由 ・パーソナル腸活の必要性 ・セルフ腸もみ 	座学 ・実技	井本江里子さん (パーソナル腸活 コーチ)	公民館 貫井南分館 学習室AB	19人
事業のねらい・位置づけ等		健康志向へのアシストとして、今回は、腸に特化して、腸の働きを知り、食事から、睡眠から、ストレスケアやメンタルケアにアプローチしていく。						
特記事項		次年度にも開催してほしいとの声が上がった。						

公民館事業報告書

令和5年度

事業名	成人学校 「楽しくトレッキング～都民の森・紅葉編～」		担当者	伊藤 修	
			職層	主事	
参加者数	12人	大事業		募集方法	
延べ人数	22人	成人教育事業			
出席率	91.5%	予算措置		受付方法	
全回出席	—	講師謝礼@8,000×2h=16,000			
男女別	男	2人		定員	12人
	女	10人		対象	市内在住、在勤、在学の18歳以上で、2時間以上歩ける方

担当企画実行委員 齊藤美恵子

年 代 別	9歳以下		保育	町 別	東町	1人
	10～19歳		なし		梶野町	
	20～29歳		保育予算		関野町	
	30～39歳		なし		緑町	1人
	40～49歳		準備会		中町	1人
	50～59歳	3人	なし		前原町	4人
	60～69歳	4人	アンケート回収数		本町	2人
	70～79歳	4人	12/12		桜町	1人
	80～89歳	1人			貫井北町	1人
	90歳以上				貫井南町	1人
	不明				市外	

回	月日	曜	時間	テーマ・学習内容等	学習方法	講師	場所	参加数
1	10/27	金	14:00～16:00	事前学習(用具の使い方他)	座学	越前屋博さん (北多摩山の会)	公民館貫井南分館学習室A	10人
2	10/31	火	8:00～17:00	楽しくトレッキング～都民の森・紅葉編～	野外	越前屋博さん (北多摩山の会)	都民の森(西多摩郡檜原村)	12人
事業のねらい・位置づけ等		本格的な登山ではなく、初歩的なトレッキングを学びながら、同じ趣味の仲間づくりを目的とする。						
特記事項		募集人数は10人としていたが、初応募者が多かったため12人に増やし、一人でも多く参加できる対応をとった。						

公民館事業報告書

公民館事業報告書			令和5年度		
事業名	成人学校 子ども子育て支援講座 「0歳からの音楽会～聞いて・動いて・楽しもう！ ～」		担当者	倉本 恵子	
			職層	NPO法人 職員	
参加者数	27	大事業		募集方法	市報9月15日号、月刊こう みんかん9月号、チラシ、 ポスター、市HP、東セン ターHPほか
延べ人数	27	成人教育事業			
出席率	79.4%	予算措置		受付方法	多数抽選
全回出席	—	講師謝礼 @8,000×2h×2人= 32,000			
男女別	男	16		定員	34人
	女	11		対象	市内在住・在学の小学生以 下の子どもと保護者
担当企画実行委員			角田 麻美、宮國 愛里、矢部 響子		
年 代 別	9歳以下	11	保育	東町	10
	10～19歳		なし	梶野町	3
	20～29歳	1	保育予算	関野町	
	30～39歳	11	なし	緑町	3
	40～49歳	4	準備会	中町	
	50～59歳		なし	前原町	
	60～69歳		アンケート回収数	本町	6
	70～79歳		16/27	桜町	
	80～89歳			貫井北町	5
	90歳以上			貫井南町	
	不明			市外	

回	月日	曜	時間	テーマ・学習内容等	学習方法	講師	場所	参加数
1	10/21	土	午前10 時～11 時半	フルートとアコーディオ ンの演奏と音楽絵本の鑑 賞、リトミック	音楽 鑑賞	フルート・ア コーディオンユ ニット「風楽 (ふうら)」	和室	27

事業のね らい・位 置づけ等	0歳から小学生までのお子さんとそのご家族を対象に、リラックスして音楽の演奏等に親しむ機会を提供することを通して、音楽への造詣を深めることを目的とする。
特記事項	応募多数の為、定員を30人から34人に増員した。

公民館事業報告書

			令和5年度		
事業名	成人学校 「文豪たちの関東大震災体験記」		担当者	林 文男	
			職層	主事	
参加者数	17人	大事業		募集方法	市報、ホームページ、月刊こうみんかん、チラシ、ポスター
延べ人数	57人	成人教育事業			
出席率	84%	予算措置		受付方法	往復ハガキ、Eメール（多数抽選）
全回出席	9人	講師謝礼 @8,000×2h×4回=64,000			
男女別	男	7人		定員	30人
	女	10人		対象	市内在住・在勤・在学の方
担当企画実行委員			東 弥司良、大蔵 芳夫、苅込 美津代、宮本 一		
年 代 別	9歳以下	0人	保育	東町	3人
	10～19歳	0人	なし	梶野町	0人
	20～29歳	0人	保育予算	関野町	0人
	30～39歳	0人	なし	緑町	6人
	40～49歳	0人	準備会	中町	1人
	50～59歳	0人	なし	前原町	1人
	60～69歳	3人	アンケート回収数	本町	2人
	70～79歳	10人	12/17	桜町	3人
	80～89歳	4人		貫井北町	0人
	90歳以上	0人		貫井南町	1人
	不明	0人		市外	0人

回	月日	曜	時間	テーマ・学習内容等	学習方法	講師	場所	参加数
1	9/20	水	13:30～15:30	本所・両国・浅草の惨状	講義	石井正己	緑分館学習室A・B	14人
2	9/27	水	13:30～15:30	上野・千駄木・田端の避難	講義	石井正己	緑分館学習室A・B	14人
3	10/4	水	13:30～15:30	横浜・鎌倉・箱根の被害	講義	石井正己	緑分館学習室A・B	15人
4	10/11	水	13:30～15:30	流言・虐殺・防災	講義	石井正己	緑分館学習室A・B	14人

事業のねらい・位置づけ等	今年の9月1日で1923年の関東大震災から100年になる。文豪たちが感じて書いた「大都市災害」を考察し、未来の防災につなげる。
特記事項	

公民館事業報告書

令和5年度

事業名	成人学校 子ども・子育て支援 「子どもの心を守るためのストレスマネジメント」		担当者	原田 晴美	
			職層		
参加者数	7人	大事業		募集方法	市報8月1日号、ポスター、チラシ、市HP、貫井北センターHP、公民館貫井北分館ツイッター
延べ人数	13人	成人教育事業			
出席率		予算措置		受付方法	メール
全回出席		講師謝礼 @10,500×2h×2日 = 42,000			
男女別	男	0人	定員	16人	
	女	7人		対象	市内在住・在勤・在学の未就学児の保護者
担当企画実行委員		土屋 文雄、 塚田 昭子			
年代別 (人)	9歳以下		保育	東町	2
	10～19歳		あり	梶野町	
	20～29歳		保育予算	関野町	
	30～39歳	5	22,860円	緑町	
	40～49歳	2	準備会	中町	
	50～59歳		なし	前原町	1
	60～69歳		アンケート回収数	本町	1
	70～79歳		7/7	桜町	
	80～89歳			貫井北町	3
	90歳以上			貫井南町	
	不明			市外	

回	月日	曜	時間	テーマ・学習内容等	学習方法	講師	場所	参加数
1	9/4	月	10-12時	自分自身のストレスマネジメント～子育てストレスと上手に付き合おう～	講義・GW	高城絵里子先生 (ルーテル学院大学准教授)	学習室CD	6人
2	9/11	月	10-12時	子どものストレスケア～心の回復力について考えてみよう～	講義・GW		学習室CD	7人
事業のねらい・位置づけ等	日ごろの育児で疑問や悩みを抱えた保護者がリラックスした雰囲気の中で、子育てについて共に学び合いながら、参加者間で交流することを目的とします。							
特記事項	最後の質問タイムでは参加者が積極的に先生に質問し、講座終了後も先生に質問に行くという姿が見受けられた。全員参加型の講座となり、良い交流の場となったように感じた。							